



One for Children, All for Children

久我山青光学園

学園便り 6月号
校長 宮田 守
令和6年6月3日発行

遠足に行ってきました

副校長 月崎 泰照 (視覚障害教育部門)



日頃より本校の教育活動に関し御理解・御協力を賜り感謝申し上げます。お陰様をもちまして本校在籍の幼児・児童・生徒は順調に成長しています。新年度開始から2か月、両部門で様々な取組が行われています。私が同行した視覚障害教育部門小学部の春の遠足は、前日の大雨で実施が危ぶまれましたが、当日は快晴となり、日頃のよい行いがものを言ったようです。出発までみんなが約束事をしっかり守って準備し、出発予定の時刻には全員バスに乗り込んで落ち着いていました。ところが出発後程なくして工事渋滞に巻き込まれてしまい、現地到着が大幅に遅れました。それでも短くなった活動の時間を目一杯有効に使い、全員でゲームを楽しんだ後は学級ごとに分かれてそれぞれ思い思いの活動へ。遊具を使って遊んだり、追いかけてここに興じたり、どの子も思いっきり笑顔で楽しんでいました。学校に戻って食べた給食はさぞやおいしかったことでしょう。学校ではできない体験を楽しみ、いい一日を過ごすことができました。

今年度は各部門・学部で様々な行事や校外活動を予定しています。保護者の皆様には各行事に向けて御準備いただくこととなりますが、子供たちが有意義に過ごせるよう、今後とも御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

視覚障害教育部門 寄宿舎担当 田村 亮子
寄宿舎の生活等について

寄宿舎では、年齢の異なる集団の中で、基本的な生活習慣の確立や、行事や遊び、地域との交流を通して自立心の育成を図り、みんなと協力して生きていく力を育てていきます。

舎生活が始まり2か月がたち、舎生は同じ曜日に泊まる友達と仲良くなり、楽しそうに過ごしています。5月には都立多摩図書館の方が来舎し「端午の節句」のおはなし会がありました。その日の夜から菖蒲の香りの入浴剤で「しょうぶ湯」を楽しみました。短縮時間で時間があつた日には、校外活動で都立高井戸公園に行ってきました。広い芝生広場で、ブランコやジャングルジム、大きな滑り台等の遊具で思い思いに遊んで楽しい時間を過ごしました。



おはなし会の様子



高井戸公園

教務主任 工藤 政則

6月になりました。カレンダーを見ると、6月は祝祭日が一日もなく、大人にとっては少ししんどく感じるかもしれませんが、本校の子供たちにとっては、変化が少なく地道に一日一日の活動を積み重ねられる絶好の機会と言えます。6月6日(木)から8日(土)の授業参観では、まだその成果が明確には見えないかもしれませんが、今月の様子をぜひ御覧いただき、1月の授業参観で、その成果を感じ取っていただけたらと思います。

今月はもう一つ、「公園遊具遊びのススメ」をお伝えします。ブランコ、滑り台、ジャングルジムなどは、どの公園にもあると思います。これらの遊具は、子供たちの発達に欠かせない「感覚」を育てたり、活性化させたりするのに適していることもあり設置されているものです。

しかし、知らない子が大量にいる場が苦手だったり、順番に使うことが難しかったりして、使用機会が少なくなっているのではないのでしょうか。夕暮れ時や早朝をねらうなどして、可能な限り継続して遊んでもらいたいと思います。

また、家庭用のミニトランポリンやバランスボールなどでも代用が可能です。御検討してみてください。

なお、これらのことは全員に当てはまることではありません。実態に応じて参考にしてください。

【大切なお知らせ】

- 今月号より、学園便りはClassi 東京都版での配信となりました。御不明な点等ございましたら、学校まで御連絡をお願いいたします。
- 緊急時連絡先の学校携帯番号は以下のとおりです。
視覚障害教育部門080-7889-9656 知的障害教育部門080-7889-9657